

小さな知識?でかい力!

農業+カカ同組合豆知識



J Aの役割

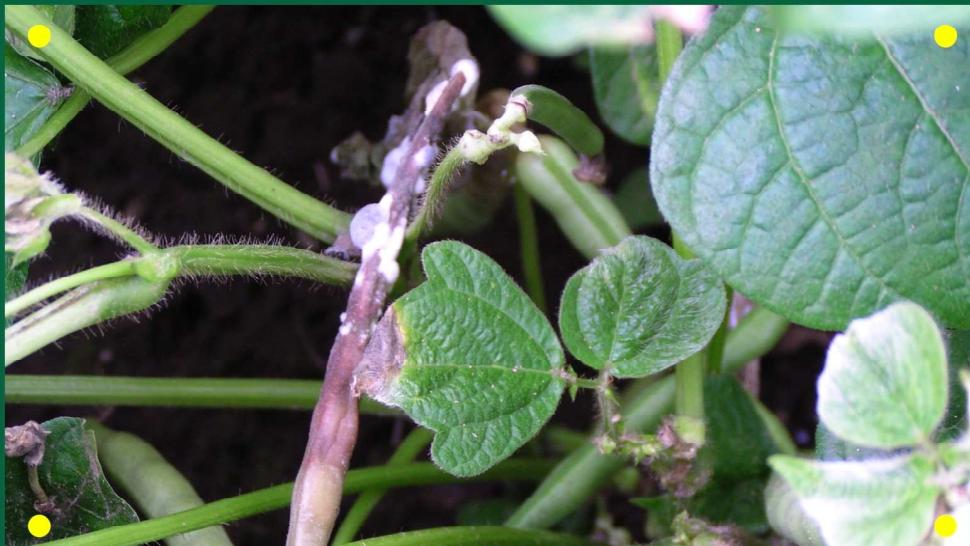


- ・種の確保
- ・資材
- ・肥料
- ・融資の相談
- ・補助事業の申請

J Aの役割



JAの役割



JAの役割



JAの役割



- ・資材の確保
 - ・種子の購入
 - ・資金の確保
 - ・病害虫への対策
 - ・新技術の導入
 - ・販路の確保
 - ・保険
- などなど…

JAとは

JA

農業協同組合



JAとは

協同組合とは、
個人や中小規模の事業者、
消費者が集まって
助け合う組織



JAとは

自立した個人が
連帯し助け合う
相互扶助



JAとは

生産者



JAとは

生産者

生産者による協同組織
(JA)



JAと株式会社の違い

協同組合と
株式会社の違いは?

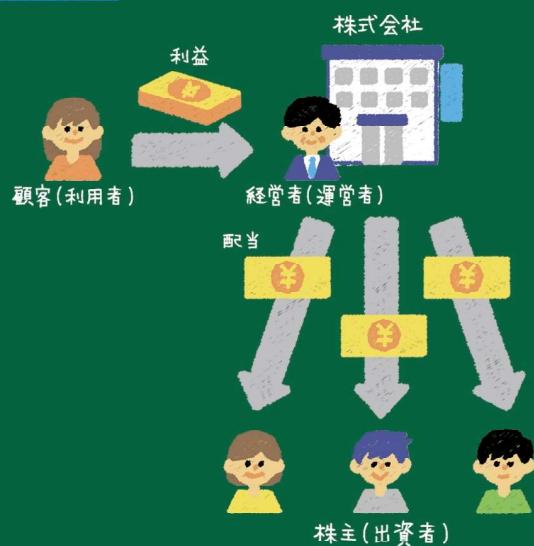


JAと株式会社の違い

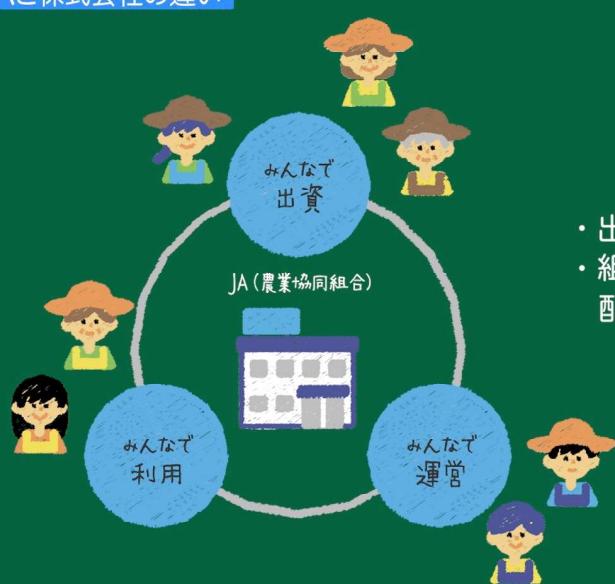
どちらも
多くの人から出資金を得ている



JAと株式会社の違い

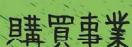


JAと株式会社の違い



- ・出資者=運営者=利用者
- ・組合員の事業の利用高に応じて配当を支払う

JAの事業は7つ



JAの事業

販売事業

共同販売:
栽培・使用基準の統一、共同選別などにより
品質規格を抑え、市場での評価を高めるとともに、
計画的に出荷し、有利販売を実現する



JAの事業

信用事業

貯金:みんなのお金を預かる
貸付:資金を必要とする組合員へ



JAの事業

共済事業

みんなのお金を預かり(掛け金)
万一の時にたしかな保障(共済金)



JAの事業

厚生事業

病院・診療所の設置・運営
健康管理活動の実施、介護事業



JAの事業

生活事業

石油、LPガス、食料品などの供給



JAグループ

代表・総合調整
経営相談事業

経済事業

共済事業

厚生事業

その他事業

信用事業

全国段階

北海道段階

市町村段階

JA全中

JA全北

JA全南

JA共済連

農林中金

JA北海道信連

JA農業協同組合

(584) 2020年4月現在

正組合員 417万人
准組合員 629万人

2020年度現在

JA農業協同組合

(584) 2020年4月現在

JA北海道信連

JA農業協同組合

(584) 2020年4月現在

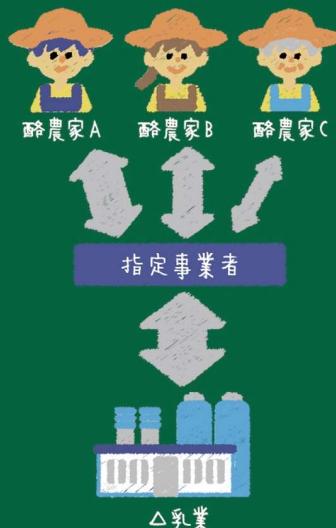
JJAの取組み・メリット

北海道ではホクレンが
指定事業者



JJAの取組み・メリット

指定事業者を通じた場合



指定事業者に
生乳をまとめることで
取引量を増やし、
価格交渉力を強化

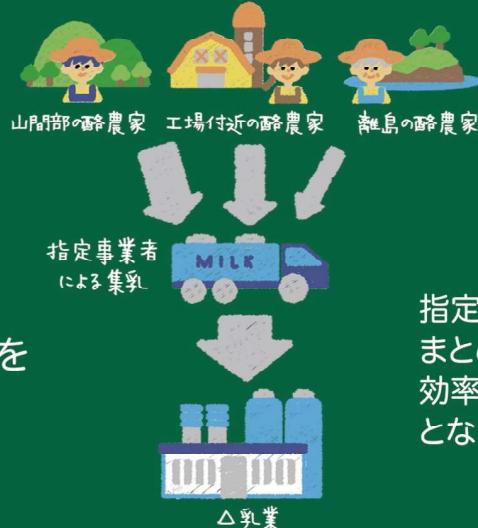
JJAの取組み・メリット

相対取引の場合
(個別取引)



条件の異なる酪農家が
バラバラで乳業者に
送乳するのは
非効率かつ高コスト

JJAの取組み・メリット



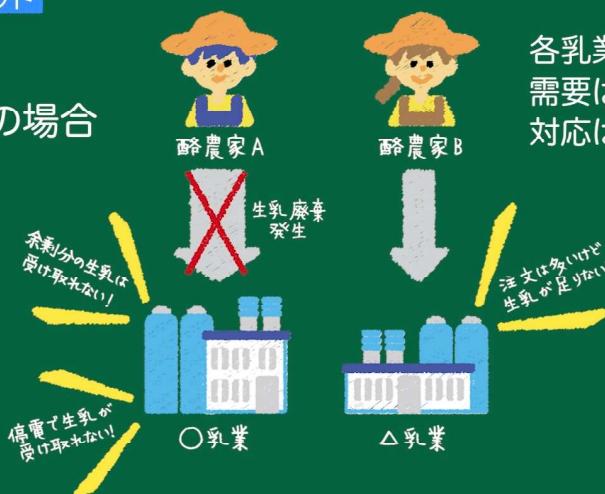
指定事業者を通じた場合

指定事業者が、まとめて集乳に回ることで、効率的な集送乳ラインとなり、コストを削減

JJAの取組み・メリット

相対取引の場合
(個別取引)

各乳業メーカーからの需要は日々変動するため、対応は難しい



JJAの取組み・メリット

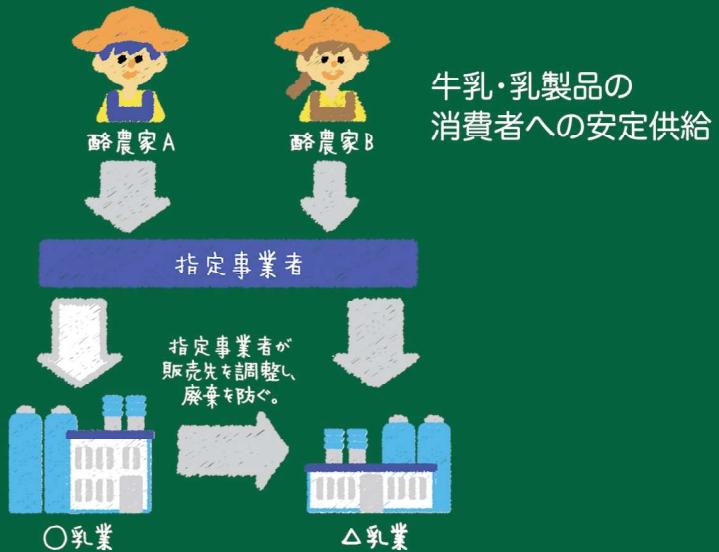
指定事業者を通じた場合

酪農家は安定的に生乳を出荷できる



JJAの取組み・メリット

指定事業者を通じた場合



JJAの取組み・メリット

生乳の受け入れが不可能に

指定事業者による
広域需給調整

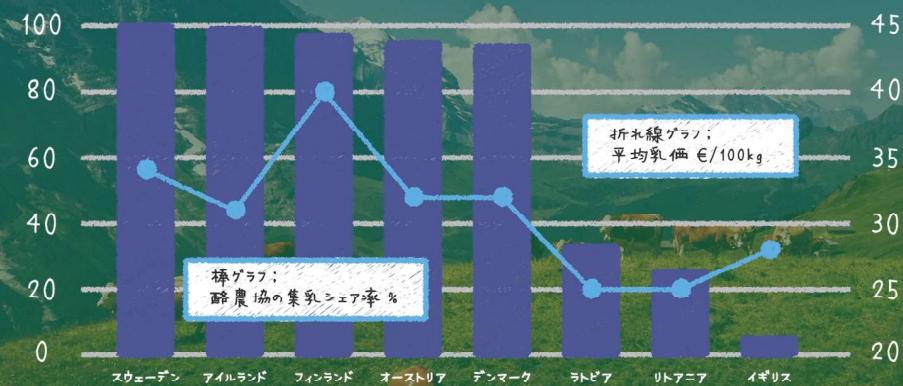
迂回路等
により集乳

指定事業者

指定事業者が
乳業工場へ配乳

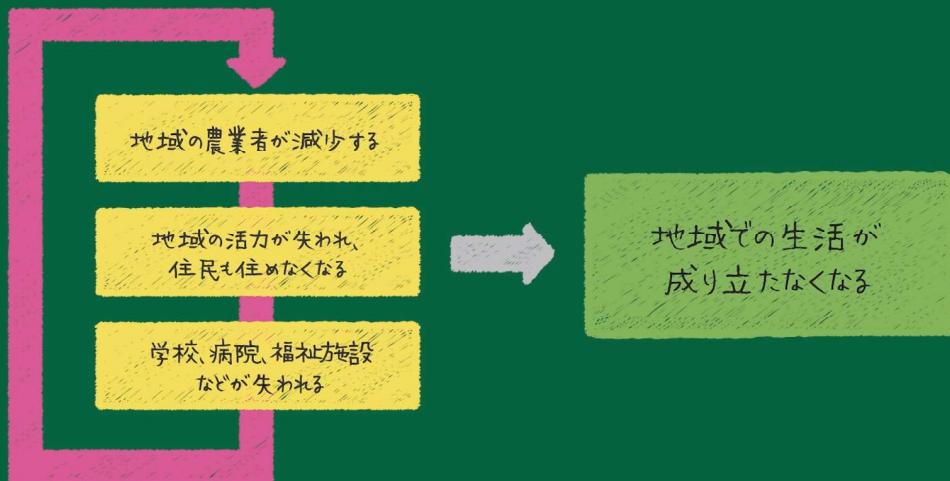
海外の事例

EUの生乳共販率と乳価の比較



出展:Support For Farmer's Cooperatives

JAの地域での役割



JAの地域での役割



JAの地域での役割

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS <small>2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</small>

JA 約領

わたしたちは、

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

JA 約領

一人は みんなのために
みんなは 一人のために



JA 約領





 JAグループ北海道